

# 校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成29年6月13日 NO.7 (136)

## 5年生の田植え体験

6月12日(月)お天気にも恵まれ、5年生の田植え体験が国立市城山さとのいえ農業体験用地にて行われました。この田植え活動には、毎年、国立市農業委員・JA職員・市職員など総勢40名程の方々のご協力により、諸準備をされ実施しているものです。国立市公立小学校5年生の子供たち全員が、それぞれの分担の場所で初めての田植えを経験することができました。写真にもあるように、農業委員の方々より丁寧に指導していただきました。数列植え出すと、要領がわかったのか、とてもきれいにまっすぐに植えることができました。「うわあー、ぬるぬるする。」「ぐちゅぐちゅだ。気持ち悪い。」といていた子供たちもすっかり上手になり、ぼくたち・わたしたちだってできるんだという、誇らしげな笑顔がたくさん見られました。

なお、農業委員の方々のお話によると、この田んぼの面積は、全体で約一反半(450坪・1500㎡)あり、500～600kgのお米が取れるそうです。秋には、また皆で稲刈りに行きますが、黄金色の穂がたわわに実り、大収穫できる日を楽しみにしていきましょう。



## 国立七小校内でも田植え体験

池のとなりにある田んぼは、昨年、発見されたものです。発見されたと言うと、おかしな話のように聞こえますが、この場所は、私が5年前に着任した時は、雑草だらけの土の山でした。資料によると、平成6年3月に作成された児童のために教材用水田であったようですが、近年はほとんど使用されずに放置されていたようです。ところが、昨年度着任した図画工作専科の古田先生が隅っこに蛇口があるのを発見し、ここは田んぼとして使えることがわかり、子供たちと土を掘り返し、残土を捨て立派な水田にと復活したのです。

そこで、5年生以外の子供たちにも、田植え体験希望者には経験させたいと思い、全校に呼びかけ、本日の休み時間に田植えを行いました。初めての体験に子供たちは皆がキャーキャーわいわいと大騒ぎ。稲の成長を日に日に観察しながら、豊かな実りを楽しみにしていきたいものです。保護者・地域の皆様も、子供たちの植えた稲の様子をご来校の際にご覧いただければ幸いです。

